



年 組 名前

道新ワークシート

旧産炭地 少子高齢化深刻

人口減少率の大きい市

市	減少率(%)
① 夕張	4.10
② 歌志内	3.82
③ 芦別	3.09
④ 美唄	2.85
⑤ 土佐清水(高知県)	2.80
⑥ 勝浦(千葉県)	2.73
⑦ 三笠	2.65
⑧ 士別	2.56
⑨ 尾花沢(山形県)	2.43
⑩ 垂水(鹿児島県)	2.42

*2017年1月1日現在の住民基本台帳を基に、前年1月1日現在と比較

老年人口割合の大きい市

市	割合(%)
① 夕張	49.92
② 歌志内	47.91
③ 珠洲(石川県)	46.54
④ 三笠	45.94
⑤ 室戸(高知県)	45.83
⑥ 熱海(静岡県)	45.69
⑦ 土佐清水(高知県)	45.31
⑧ 赤平	44.95
⑨ 竹田(大分県)	44.27
⑩ 芦別	44.13

*2017年1月1日現在の住民基本台帳を基に算出

全国791市ランキング

夕張は人口減少率(4・10%減)、65歳以上の老年人口割合(49・92%)、14歳以下の年少人口割合(5・47%)の小ささ、15〜64歳の生産年齢人口割合(44・60%)の小ささで、いずれも全国の市で1位。人口減少率は歌志内が全国の市で2位、芦別が3位、美唄が4位で、全国1〜4位を空知勢が占めた。三笠は7位だった。

人口減の要因のうち、社会減(転入者数などから転出者数などを引いた数)の減少率は歌志内が1・99%減で全国の市で1位。夕張(1・78%減)は3位、芦別(1・76%減)は4位、三笠(1・67%減)は5位、赤平(1・66%減)は6位だった。

自然減(出生者数から死亡者数を引いた数)の減少率は歌志内が1・99%減で全国の市で1位。夕張(1・78%減)は3位、芦別(1・76%減)は4位、三笠(1・67%減)は5位、赤平(1・66%減)は6位だった。

人口減少率 夕張1位 10位以内に管内5市

国が今年1月1日時点の住民基本台帳に基づきまとめた人口関連の調査で、夕張市、歌志内市、芦別市など空知管内の旧産炭地が、人口減少率の大きさや老年人口割合の大きさを、いずれも全国791市のうち10位以内に入った。空知の旧産炭地で少子高齢化が急速に進んでいる実態が浮かぶ。

(町田誠)

老年人口割合は歌志内が全国の市で2位、三笠4位、赤平8位、芦別10位。年少人口割合の小ささは歌志内(5・66%)が2位、芦別(7・19%)が4位、赤平(7・29%)が7位、三笠(7・74%)が10位だった。

町村での人口減少率は、秩父別町が4・10%減で全国7位だった。道内では渡島管内長万部町(4・87%減)が3位、同管内福島町(3・95%減)が10位。全国1位は熊本県南阿蘇村の4・94%減だった。

空知総合振興局は「旧産炭地は炭鉱に代わる産業がなく、人口減や高齢化が進み、教育や税収など多方面に影響が出ている。情報提供を含めて市町を支援したい」としている。

2017年7月14日朝刊空知版(記事は再編集しています)

①見出しにある「旧産炭地」の意味を書きなさい。

②夕張市の人口減少率を構成する社会減と自然減の内訳と合計を書きなさい。